

# 東部海浜開発事業検討会議 会議報告 VOL.3

日時 平成19年2月10日 14時00分～16時30分

場所 沖縄市役所 地下二階大ホール

検討委員(五十音順・敬称略)

伊良部光宏 岩田健吉 大田至 島田勝也(副座長) 高江州昌和  
當山真由美 比嘉徹 藤田喜久 宮平栄治(座長) 藁科邦利

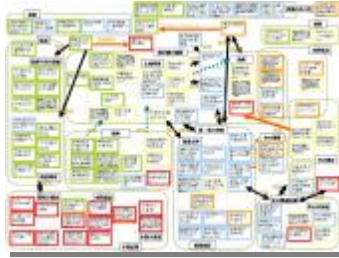
## 疑問点の精査の方法について…どう議論していくのか

### 疑問点関連図の確認…傍聴者の意見も考慮し整理

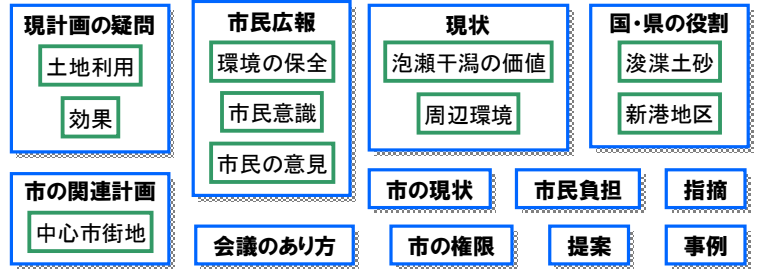
前回の会議で出した疑問点等に、傍聴者の意見等を加えて事前に整理・修正した。疑問等のカードは12の大グループに整理され、うち5つの大グループはさらに小グループに整理することができた。



関連図の説明の様子



整理された関連図



### 精査の方法について…疑問点へのアプローチ

大きく2案、現行の事業計画を軸に精査する案と、前回作成した関連図をベースに精査していく案のどちらで進めていくかを検討した。

#### 【案1】現行計画を軸に

- ・現行の事業計画を無視しては話は進まない。
- ・幅広くやろうとすると消化不良を起こす。
- ・市民向けパンフ「人工島事業の理解のために」をまず精査したらどうか。

#### 【案2】関連図をベースに

- ・新たに会議ができた意義として、ゼロからの再検討という方向性もあるのではないか。
- ・グループをもっと大きく3つぐらいに分けそれらについて議論してはどうか。

#### 「人工島事業の理解のために」の精査

- ・まずは「中城湾港泡瀬地区人工島事業理解のために」という資料を精査していく。
- ・あらかじめ関連図を念頭に資料から疑問点を洗い出しておき、会議で検討する。
- ・精査していくうちに関連図の疑問点のいくつかは解消されるはず。

#### 泡瀬干潟について

- ・泡瀬干潟がどれだけの価値があるかを市民がどれだけ理解しているか分からない。
- ・干潟の価値を知り、その上で何が失われるかを認識すべき。

理解する  
現状を  
必要性

#### 現地視察へ

3月17日(土)予定  
泡瀬干潟および  
比屋根湿地  
海上工事現場

## 情報公開のあり方…積極的な広報へ

### 積極的な広報の必要性

- ・事業や会議をより多くの市民に知ってもらう為に、理解できる形での情報提供が重要。
- ・知らないうちにできていた、と言う状況は避けたい。

具体的には：

- ①会場テーブル配置の工夫
- ②市広報誌やネット等の継続活用
- ③各メディアへの積極的な取材の依頼
- ④開催場所の工夫  
(泡瀬の近郊や市役所ロビー等) など

### ポイント

1. メディアに載ることを各委員が理解・納得すること
2. 価値のある議論でないと広報は成り立たない

### 広報のルール

- ・統一した意見はHPまたは会報にて情報提供。
- ・各委員の意見は個人のものであり、会議を重ねることで意見が変わる可能性もある。
- ・会議は賛成・反対を決める場ではない。
- ・個人情報には十分に留意すること

第4回検討会議は

**2月24日(土)14時～**

**沖縄市産業交流センター 大研修室**

にて開催します。

議題は

1. 「人工島事業の理解のために」を読んで
2. 現地視察のチェック項目
3. 傍聴者意見等の取扱 等です

※議題名は予定です。当日までに変更する可能性もあることをご了承ください。

沖縄市役所 東部海浜開発局 計画調整課

<http://www.city.okinawa.okinawa.jp> メインページ→各課案内→計画調整課  
tel 098-939-1212(代表) fax 098-939-6313